

## 「平成 27 年青森県鉱工業生産指数年報」 概要版

「平成 27 年青森県鉱工業生産指数年報」は、昨年毎月公表した「青森県鉱工業生産指数(速報)」を確定値により取りまとめたものです。

指数の作成に当たっては、平成 22 年を基準(平成 22 年=100)とし、県内で生産される 142 品目を採用しています。

### 1. 近年の本県の動向

近年の本県製造業の生産動向は、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災の影響により、震災直後の鉱工業生産指数が大きく落ち込みました。その後、被災工場の復旧等から徐々に生産活動の回復の動きが見られたものの、平成 24 年は、急速に進行した円高傾向等国内外の景気の影響を受けました。平成 25 年は金融緩和や各種経済対策の効果もあり国内需要が底堅く推移し、輸出も持ち直し傾向にあるなど、緩やかに回復しましたが、平成 26 年は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要とその反動の影響を受け大きく変動しました。

平成 27 年は、中国経済を初めとするアジア新興国経済の減速の影響なども加わり、ここに来て足踏み状態が続いています。

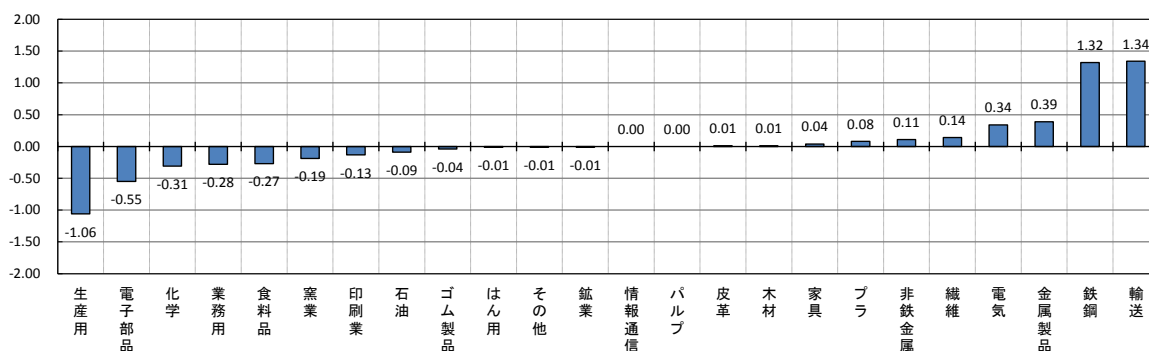
### 2. 一般概況(平成 27 年)

平成 27 年の青森県鉱工業生産指数(原指数:平成 22 年=100)は 107.8 で、前年比 0.8% 上昇し、4 年連続で前年を上回りました。

- 〔・上昇した業種…輸送機械工業、鉄鋼業、金属製品工業等の 12 業種
- 〔・低下した業種…生産用機械工業、電子部品・デバイス工業、化学工業等の 12 業種

四半期別(季節調整済指数)でみると、第 I 四半期は前期比 2.4% の上昇、第 II 四半期は同 0.3% の低下、第 III 四半期は同 0.1% の上昇、第 IV 四半期は同 2.8% の低下となりました。

第1図 平成27年 業種別対前年寄与度



第2図 青森県鉱工業生産指数の推移 (年:原指数 / 四半期、月次:季節調整済指数) (平成22年=100)

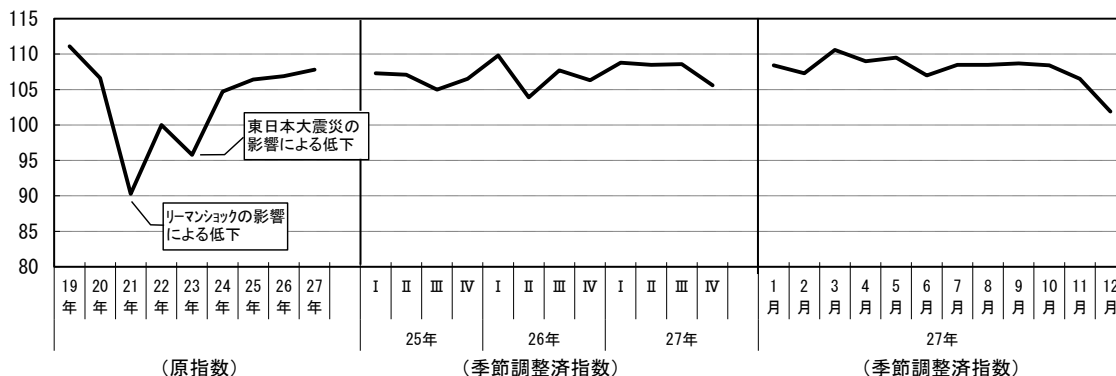


表1 青森県・東北・全国の鉱工業生産指数の推移

	26年	27年	平成26年四半期別				平成27年四半期別				
			I	II	III	IV	I	II	III	IV	
青森県	季節調整済指数	—	—	109.8	103.9	107.7	106.3	108.8	108.5	108.6	105.6
	前期比	—	—	3.1	-5.4	3.7	-1.3	2.4	-0.3	0.1	-2.8
	原指数	106.9	107.8	103.9	104.5	108.5	110.7	104.2	109.5	107.9	109.7
	前年(同期)比	0.5	0.8	3.3	-2.5	2.3	-0.8	0.3	4.8	-0.6	-0.9
東北	季節調整済指数	—	—	98.2	95.8	95.4	95.3	98.2	94.9	94.4	94.0
	前期比	—	—	0.4	-2.4	-0.4	-0.1	3.0	-3.4	-0.5	-0.4
	原指数	96.1	95.3	96.7	94.5	96.6	96.6	97.7	93.1	94.6	95.6
	前年(同期)比	2.8	-0.8	8.2	4.7	1.9	-3.0	1.0	-1.5	-2.1	-1.0
全国	季節調整済指数	—	—	101.9	98.8	97.4	98.2	99.3	98.0	97.0	97.1
	前期比	—	—	2.3	-3.0	-1.4	0.8	1.1	-1.3	-1.0	0.1
	原指数	99.0	97.8	101.3	96.8	98.7	99.2	99.0	96.0	97.8	98.4
	前年(同期)比	2.1	-1.2	8.2	2.7	-0.8	-1.5	-2.3	-0.8	-0.9	-0.8

### 3. 業種別の動向

業種別では12業種が上昇、12業種が低下しましたが、本県における主要6業種の動向をみると、上昇したのが、鉄鋼業（同12.1%上昇）、電気機械工業（前年比8.3%上昇）、パルプ・紙・紙加工品工業（前年比0.0%）、低下したのが電子部品・デバイス工業（同3.7%低下）、業務用機械工業（同2.8%低下）、食料品工業（同1.1%低下）となりました。

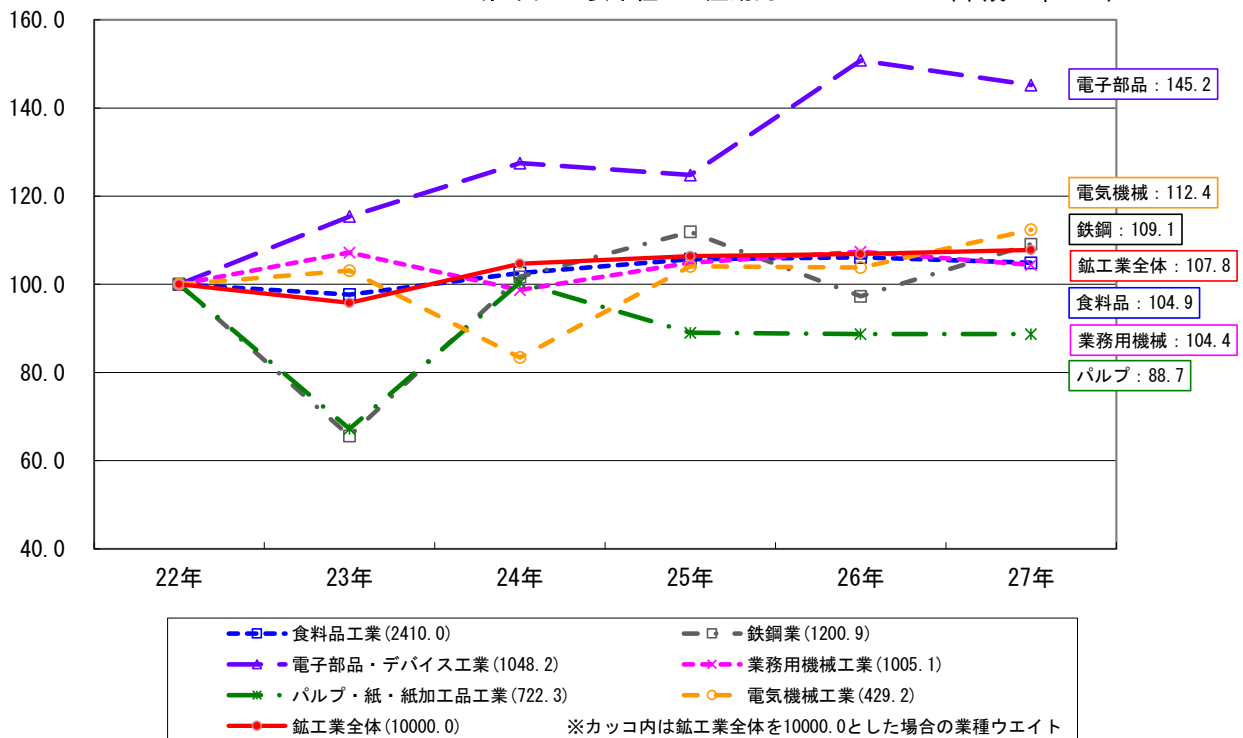
表2 青森県鉱工業生産指数 業種分類別年次推移

(原指数：平成22年=100)

	23年	24年	25年	26年	27年	27年 対前年比 (%)	27年 寄与度 (%)
鉱工業	95.8	104.7	106.4	106.9	107.8	0.8	0.84
製造工業	95.8	104.8	106.3	106.9	107.8	0.8	0.84
鉄鋼業	65.6	101.7	111.9	97.3	109.1	12.1	1.32
非鉄金属工業	81.9	99.6	96.2	91.7	95.3	3.9	0.11
金属製品工業	109.8	102.7	116.4	131.4	142.8	8.7	0.39
はん用機械工業	165.7	156.8	178.2	190.6	188.6	-1.0	-0.01
生産用機械工業	115.0	110.7	107.1	88.5	47.8	-46.0	-1.06
業務用機械工業	107.2	98.7	104.9	107.4	104.4	-2.8	-0.28
電気機械工業	103.1	83.4	104.1	103.8	112.4	8.3	0.34
情報通信機械工業	90.9	92.3	83.3	69.4	69.5	0.1	0.00
電子部品・デバイス工業	115.4	127.5	124.8	150.8	145.2	-3.7	-0.55
輸送機械工業	81.5	113.8	71.9	72.7	114.8	57.9	1.34
窯業・土石製品工業	105.7	120.1	126.1	111.0	105.6	-4.9	-0.19
化学工業	124.8	108.0	106.5	117.4	107.8	-8.2	-0.31
石油・石炭製品工業	64.7	88.1	85.0	85.3	74.7	-12.4	-0.09
プラスチック製品工業	98.4	83.0	86.0	78.2	86.0	10.0	0.08
パルプ・紙・紙加工品工業	67.2	100.4	89.0	88.7	88.7	0.0	0.00
繊維工業	103.1	105.9	106.0	102.6	106.7	4.0	0.14
食料品工業	97.7	102.6	105.7	106.1	104.9	-1.1	-0.27
その他工業	98.9	98.4	102.8	99.4	96.2	-3.2	-0.11
ゴム製品工業	99.5	64.0	87.3	90.0	77.5	-13.9	-0.04
皮革製品工業	121.9	101.0	98.5	90.7	107.3	18.3	0.01
家具工業	107.3	112.7	121.0	117.4	127.2	8.3	0.04
印刷業	94.4	95.7	96.0	91.5	81.3	-11.1	-0.13
木材・木製品工業	103.8	107.8	116.0	110.6	112.2	1.4	0.01
その他製品工業	91.7	99.8	94.9	93.9	92.6	-1.4	-0.01
鉱業	88.8	101.0	113.3	108.5	106.0	-2.3	-0.01
公益事業(参考)	21.0	13.1	9.3	13.0	17.2	32.3	-
産業総合(参考)	89.6	97.2	98.3	99.1	100.3	1.2	-
一般機械工業(旧分類)(参考)	110.9	99.9	106.5	98.3	83.6	-15.0	-1.38
精密機械工業(旧分類)(参考)	104.8	105.6	101.4	124.4	128.8	3.5	0.10

第3図 主要業種の生産動向

(平成22年=100)



【用語の説明】

(1) 原指数

指数作成用データをそのまま指数化したもので、原指数により動向をみる場合には前年同月比が主に使用されます。

(2) 季節調整及び季節調整済指数

季節調整とは、景気変動（生産の変動）をみるため、1年間の周期をもつ規則的な要素（四季の変化からなる自然要因、盆・正月などの社会的慣習、決算期などの商慣行の社会要因等）を調整することです。鉱工業生産指数の場合は、季節指数を算出し、それで原指数を除することにより季節調整を行います。季節調整を行った指数を「季節調整済指数」といい、季節調整を行うことによって前月との比較や景気変動を把握することができます。

(3) 寄与度

鉱工業全体の上昇または低下に対して、各業種がどれだけ影響を与えたものか示す値です。

(4) ウェイト

ウェイトは、個々の品目の鉱工業全体に占める重要度のことで、鉱工業全体を 10,000.0 とした構成比で示しています。ウェイトは付加価値額ウェイトで、「平成 22 年工業統計調査」等を基礎に算出しています。

(5) 前年比

前年と当年を比較して求められる比率で、変化率で示しています。前年同期比、前月比、前年同月比も同様に算出します。

$$\text{前年比} \quad \dots \quad (\text{当年指数} - \text{前年指数}) / \text{前年指数} \times 100$$

「例」 H26 鉄鋼業  $\dots$   $(109.1 - 97.3) / 97.3 \times 100$   
 前年比  $= 12.1$